



駐日教皇庁大使来島（10月23日）

島のひかり ホームページアドレス
<http://lifeaidgoto.jp/cx/simanohikari/>



発行

カトリック浦頭教会
 広報委員会
 五島市平蔵町2716
 TEL 0959-00072
 印刷・(株)才津印刷所

発心

主任司祭 岩崎 晋吾

九月に敬老のお祝いを迎えた方の祝福式を行いました。お祝いをする側も、お祝いを受ける方々も共にこれまでの恵みに感謝し、敬老者の皆さんがこれからますます信仰の熟期を迎えられることを願いました。

浦頭教会では、元日のミサで新成人となられる方の祝福式、子供の日、母の日、父の日においても同じように祝福式を行うようにして参りました。祝福式を通して、それぞれの立場を生きる人々または人生の節目を迎えられた者が、神のいつくしみの内にあることをまず感じていただき、私たちも今と未来を神と同じいつくしみを生きる恵みを願いました。

これらの祝福式は、これからも続けて行かれることを望んでいます。ただ、毎年行われることにおいて注意しておかなくてはいけないのが、「発心を失う」ことです。「発心」とは深い意

味があるようです。こちら側（人が）いろいろな思惑をもって物事を始めるのではなく、あちら側（神）の思いに促されて事を始める事ではないかと理解しています。しかし、こんな難しい事は凡人にはできない。しかし、少なくとも教会共同体が一年を通して行う業に関しては、心からその意味と必要性を忘れずに行っていく必要があります。心から発するこれらのものは、少なくとももあるべきと思っております。

毎年同じことを繰り返すと必ず形式的になり、惰性的になって形骸化が起ります。だから手を替え品を替えて、飽きないようにしましょうということではないのです。そのような工夫も必要ではありませんが、私たちが行うにあたって「心から発する大切な思いを形にする」という方法です。そして、それが神様の思いに促されたものであれば、尊い行事になっていくことでしょう。

平和学習

広島

翁頭中学校一年 白濱 光玖

私は、八月四日～八月七日にかけて広島へ行きました。長崎では普段八月九日に黙想などをしますが、今回広島で八月六日に黙想や祈願などをしたのは、はじめてでした。長崎と違って町中を歩くパレードは、とても印象に残っています。

長崎は、このようなパレードをしません。みんな悲しい顔で悲しい曲を歌ったりしますが、広島は真逆でした。楽しく明るい音楽にのせて、人々がわいわいとパレードを行う。とても衝撃的でした。ミサではたくさんの方が来ており、中でも驚いたのは女性がベールをかぶっていませんでした。長崎ではかぶることがあたりまえですが、広島の方はベールをかぶっていませんでした。とても驚きました。もう一つ驚いたことがあります。



ます。それは八月六日、この日のためだけに広島教会に来た人たちのことです。大阪から来た人や、東京から来た人、それに台湾から来た人もいました。別の県だけど、別の国だけど戦争について学ぼうとしている人がいる。そう思うと胸があつくなりました。とってもうれしいです。原爆資料館でもそうでした。私たちが原爆資料館に行った時は、たくさんの人でなかなか前に進むことができませんでした。中でも外国人がほとんどで驚きました。このように、もっともといろんな人が、戦争について学んでいけば、きっとこの国は、この地球は平和になるはずです。来年も行く機会があるなら、もう一度行って、もっと色々なことを学びたいです。

ます。それは八月六日、この日のためだけに広島教会に来た人たちのことです。大阪から来た人や、東京から来た人、それに台湾から来た人もいました。別の県だけど、別の国だけど戦争について学ぼうとしている人がいる。そう思うと胸があつくなりました。とってもうれしいです。原爆資料館でもそうでした。私たちが原爆資料館に行った時は、たくさんの人でなかなか前に進むことができませんでした。中でも外国人がほとんどで驚きました。このように、もっともといろんな人が、戦争について学んでいけば、きっとこの国は、この地球は平和になるはずです。来年も行く機会があるなら、もう一度行って、もっと色々なことを学びたいです。

一年 濱崎 沙也加

私は、広島ピーススタディーに参加して、たくさんの方を学びました。その中でも、特に心に残った事は、戦争の恐ろしさです。原爆資料館や空襲にあつた方の紙芝居でのお話を、今でもよく覚えています。平和学習は、学校でもしてきましたけど、実際に原爆の時の物や被爆した方の写真を見て、戦争を体験した方のお話を聞いて、戦争の恐ろ



カトリック鞆町教会（広島教区）

しさがもつとよく分かりました。今でも、戦争をしている国があるそうです。多くの人が、平和の大切さを知り、戦争をしてはいけないと強く思うことが大切です。私には、戦争を止められるような力は無いけど、周りの人を大切に、少しでも笑顔にさせることはできます。これから先、世界中が平和になることを願い、自分にできる事を見つけ、実行していきたいです。今回は、本当に良い経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

三年 入口 舞桜

私たちは、広島に行き平和学習してきました。その中で学んだことがいくつもありました。一番印象に残っているのは、やはり平和祈念館です。そこには、当時の様子の写真や、どれだけ戦争がいけないのかを教えてくださいられる物が数えきれないほどありました。戦争の悲惨さや悲しみ、苦しみは、長崎も同じよ

うに大きかったんだらうと思います。

私たちの世代は長崎・広島の人以外、原爆が投下されたことすら知りません。だから、私は高齢者の方から聞いた話などを次の世代に引き継いでいきたいです。

今回の平和学習で、改めて今の平和な日本は幸せだと思えました。これからも、平和な日本であり続けるために自分に出来ることを見つけ、実行していきたいです。



小学生黙想会

& 侍者旅行

七月二十七・二十八日、小学生の黙想会と侍者旅行が同時に行われました。二十七日、佐世保にある西海パールシー・リゾートの向かい「海きらら、森きらら」で一日を過ごしました。二

日目は、「神さまのいづくしみを生きた人、高山右近」をテーマに黙想会が行われました。カトリックセンターで中浜敬司神父様による「神さまのいづくしみについて」の話をいただきました。それから、二十六聖人記念館に場所を移して「高山右近のいづくしみ」を

テーマに館内の資料の説明をレンゾ神父様より受けることができました。最後に、いづくしみの特別聖年指定教会である中町教会でロザリオの祈

りを捧げ、黙想会を締めくくりました。

子供たちは暑い中、楽しく有意義に二日間を過ごすことができました。指導して下さった神父様方に、心より感謝いたします。



下五島巡礼旅行 での出会い

北地区 青年会

はじめまして。私たちは、長崎の北地区で活動している北地区青年会です。

長崎空港では雨模様だった空も、五島に降り立つ頃には雨も上がり、肌を感じる風がとても気持ち良かったのを覚えています。お迎えの車に乗って、徒歩巡礼ではありませんが、島内の教会を巡りました。とてもきれいな教会が多く、沢山の教会があることに驚きました。昔から多くの信者の方が信仰を守り、教会を守ってきていたのだと感じました。

初日の夜には、念願だった浦頭教会の青年会の皆さんと交流することができました。主任神父様不在のため青年会だけの食事会でしたが、すぐに打ち解けることができました。お互いの教会のこと、仕事のこと…。時間を忘れるほど、たくさん

の話ができました。下五島で頑張っている浦頭教会の青年会の皆さんの多さに驚き、私たちもしっかりしないとなぁと感じました。浦頭教会の青年会の皆さんとのこの出会いを大切に、これから一緒に交流していきたいと思えます。遠いと思っていた五島も意外とすぐに着いたので、これからは両青年会間で行き来する機会も増えることを願っています。次は、ぜひ大村にも遊びに来て下さい。

五島のきれいな海に感動し、島内の教会を巡り、おいしいごはんとお酒をいただき、とても満腹な三日間でした。神父様方をはじめ、多くの信徒の皆さんに助けられ、怪我もなく無事に過ごすことができました。ありがとうございました。今回は、浦頭教会のごミサでの典礼奉仕ができなかったことが心残りでしたが、近いうちにぜひ邪魔したいと思えます。今度は、浦頭教会の青年会の皆さんと何か一緒に奉仕できたら嬉しいです。

教会屋上工事

八月二日から十日にかけて、教会屋上の排水及び防水工事が行なわれました。この工事は、以前から雨が降るたびに排水口付近が滞水していた事で漏れの原因では、との意見が多くあり、また七月には、天井付近からコンクリート片が落下していた事も、工事に着手した一つでもあります。信徒の皆様には、足場等で大変ご迷惑をおかけいたしました。今のところ屋上の排水も順調に流れており、堂内への漏水もあまり見られず、もうしばらく様子を見ていきたいと思えます。また同じ頃、堂内のカーテンの取り替えも行ないました。長年の使用で傷んでいた事や、眩しすぎるとの意見もあり、今回はUVカットの遮光カーテンに換えてみました。皆さん、いかがですか！

経済問題委員会 鍋内 誠次

敬老の日の祝別



九月十八日、一番・二番ミサ内で敬老者への祝福式が行われました。対象は七十五歳以上の計百名以上でしたが、起立した方の人数が少なく…入院や施設に入られている方が多いのかと考えさせられました。

ミサ内で祝福したメダイの裏にはカトリック信者であるとの証しが書かれており、シメオン・アンナ友の会の委員を通して各人に配布されていきました。

上五島巡礼

青年会

七月二十三・二十四日、浦頭青年会を中心とするメンバー八人で、一泊二日の巡礼旅行に行きました。青年会は昨年結成され、現在、第二日曜の一部の典礼と、売店の運営をしながら少しずつですが奉仕させていただいています。今回は現在、青方教会にいらっしゃる橋口神父様のご縁で、上五島に行くことになりました。



当日は天気も良く、終始修学旅行のような盛り上がりでした。

が、七つの教会を巡り青方教会で橋口神父様のミサにあずかり、しっかりお祈りしてきました。

神父様は、体は以前より痩せられたものの頭のほうは変わらず（見た目も……）一休さんのような回転の速さで、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今回の旅行は橋口神父様、岩崎神父様だけでなく、多くの方の協力があり行くことが出来ました。これからも、青年会として微力ですが、教会のために活動できたらと思っています。



『クルシリオ五十周年記念 ウルトレヤ』に参加して

川口 秀子

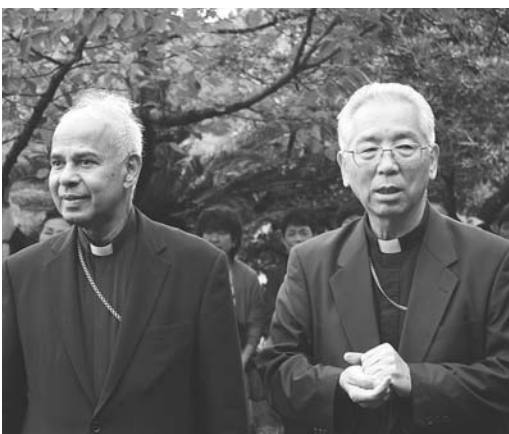
クルシリオに参加してから十四年経ち、少しずつ当時を思い出していたところ「発表」をしてほしいとの依頼……。何を話そうか何度書き直しても五十分という時間に届かず、どうしたものかと思ひ悩みました。しかし、原稿をどうにか準備し、出来る限り見ないで喋れるように何度も練習し「よし」と意気込んで参加しましたが、いざ当日は食べ物も少食となり、前に立つと足はガタガタ震えました。五島弁丸出しで当時の様子を話し、「そうだ、私は神様に向かい歩かなければ……」「そして、派遣される者として働く事が大事」と思えました。

私に与えられた使命を考えつつ、より多くの方に神様により近づく為に、クルシリオに参加してほしいものだと強く感じた一日となりました。

駐日教皇庁大使 ヨセフ・チエノツトウ 大司教様来島

十月二十三日、大使が堂崎教会に公式訪問された。教会庭は浦頭小教区の信徒でいっぱいになった。横断幕を掲げ、大使の到着を今か今かと待った。

大使はインド人で、高見大司教様の通訳のもとに挨拶された。大使は、福江教会でのミサを終え、その足で堂崎へ。その後、玉之浦への訪問となり、慌ただしいスケジュール・お疲れさまです。



神羊館の机、椅子の入替え

八月九日、老朽化した神羊館1Fの机、椅子の入替えを行いました。搬入は、富江小学校の不要になった分を合わせて二十脚頂きました。同じ小学生用でしたので、ちょうど良いサイズではないかと思いますが、大人になって見るとかなり小さい感じがします。

子供たちもより一層、シスター方からの要理教育を頑張ってくれるでしょう。



平和のばら(保育園)運動会



十月一日、昨日の雨もすっきり上がり、今日は素晴らしい運動会日和となった。これも園児たちのやる気、先生方の熱意と御指導の賜だと思えます。園児らの目は輝いています。ひとつひとつの競技を見るにつけ、目が潤んで来るのはなぜでしょう。園児たちの成長に合わせて、大人も成長していかなければと思う。先生方の辛抱強い御指導に感謝いたします。これからも、平和のばらが美しくあれ。

おたより

拝啓 日暮れも早くなり、季節の移ろいを感じる頃となりました。さて「島のひかり」をご恵送いただきまして、ありがとうございます。数十年前ぶりに手にしたときは、とても嬉しく懐かしさが胸に広がりました。

故郷で過ごした日々より、ずっと多くの年月が経ってしまいました。紙面で拝見するお名前もほとんど存知上げません。それでも覚えているお名前を見つけて、お顔を思い浮かべたりしています。

編集委員の方々ははじめ主任神父様、浦頭教会の皆様方重ねて御礼を申し上げます。

匿名



秘

跡

《帰天》

○マリア 中尾キクエ(七十八歳)

(八月十三日 浦頭)

○マリア 出口喜久代(五十七歳)

(八月十六日 浦頭)

《転入》

杉本 桂資・千代美

(福井教会から)

尾崎 ナオ

(福江教会から)

ありがとう

何処からともなく漂ってくる金木犀の香りに、季節の移り変わりを感ずるものですね。

「島のひかり」へのおたより、御協力ありがとうございます。

福 江 梅 木 香 奈 様
横 浜 市 匿 名 様
名 古 屋 市 中 尾 トシエ 様

ふるさとだより

奥浦ジュニアバレー発足!!

このたび四月より、奥浦ジュニアバレーボールクラブが発足いたしました。部員は男女合わせて十一名で、週三回の練習に励んでいます。最初はボールに遊ばれていた?(笑)子供たちですが、今では大会で勝負が出来るまでに成長しています。素直で一生懸命頑張る子供たちです。これからの成長が楽しみなチームです。

津軽三味線スクールコンサート

この度、宮崎県出身の美人三姉妹村上三絃道が十月十九日、奥浦小学校でコンサートを開いた。これは下五島地区の小学校を六月七日からすべて回り、日本の心ともいえる三味線の音に聞き入った。奥小児童と地域の方二十名程が参加し、トークあり体験ありで、会場は大いに盛り上がった。

Open レストラン “ビアニコ”

戸岐の海の端にイタリアン・レストランが開店。シェフは渡辺満さん。そのキャリアも輝かしく、東京都内一流レストラン・ホテルに勤め、その後イタリアで修業。帰国後、都内で複数店舗を経営。そして、磨き上げられた味覚の旅人は、西の端に向かう。五島市赤島に移住した後、ここ奥浦へ。本人が「素敵な景色だなあ。」と語る辺りに店はある。今、食のムーブメントがここから起こる。



おもてなし

突然、「ここ取材して下さい」と言われ「はあ?どこ?」と思いつきながら、大雑把に教えてもらったメモを頼りに「民泊茶寮 おもてなし」に行ってきました。前日までの予約が必要ということ、時間、予算、苦手なものも聞いて頂き、その後オーナーのお話で、食べたい物も伝えるといいですよ、との事でした。当日、友達とランチを頂きました。印象に残ったのは大きなエビ。身がプリプリで、とても食べ応えがあり、美味しかったです。その他、サラダやデザート等ついて満足のランチでした。私たちはランチを頂きましたが、ディナーも勿論ありますので、皆様、一度いらしてみたいかがですか?

☎〇九〇一―九六一―六〇五〇



ガ・オー・ブ・レ

奥浦 坂本 泰子



奥浦に群馬より移住してきて、四年目になりました。移住を考えている時に縁あって、浦頭の山崎さんに空き家を探して頂き、奥浦に受け入れて頂きました。三年間住みながら、昨年一年間は週一で福江の友人のお店で農産物とオーガニック食品の小さなマルシェをやりました。奥浦でお店をやれたらなあ...という淡い想いが少しずつ強くなってきた頃に、これまた地域の方とご縁で快く物件を貸して下さい、地域の大家さんとの協力を得て、お店オープンまでの運びとなりました。少しずつではありますがありますが、奥浦に根を張れるお店にしたいです。地域の皆様、ぜひ遊びに来て下さいね。フェイスブック「ぷらっと農園ねこたまショップ」見られる方はのぞいてみて下さい!!

ナイター・ペタング大会

十月初め、奥浦地区の毎年恒例行事となっている、ナイターペタング大会が開催されました。大会中は台風の通過というアクシデントもありましたが、無事に終える事ができました。

今年は、計百三十一チームと多くの方々が奥浦の地に集まって、優勝と伊勢海老等の賞品に頑張られていました。

優勝は大浜・平田チーム。大会後の抽選会も試合と同様、一喜一憂の音が響きました。



ワッショイ



十月十六日、奥浦町内で和布崎神社・乙姫神社大祭が催されました。今年は、四年に一度の遷宮（みこし町内廻り）の年で、大人みこし、子供みこしが廻りました。子供みこしは、担ぎたい子供がいる時に親が手作りで製作するとの事でした。小学校の前には子育て世代対象の市営住宅もあり、当日は大勢の方々が賑やかな祭りとなりました。特に子供たちの「ワッショイ」の大きな掛け声を聞くと、こちら元気をもらいました。

奥小・中・市民運動会

九月二十五日、奥浦中学校に於いて盛大に行なわれた。

運動会のスローガンとして、「ぎばれ！」「ねばれ！」「最後まで！」「燃やせ奥浦魂・仲間と共に駆け抜ける」。

当日は曇り空であり暑くもなく、最良の天候のもと競技が進むにつれ会場はヒートアップ。それを癒すかのように雨のシャワーが降り注ぐ。中学生も少ないながらも、ひとり十人分の活躍で運動会を盛り上げた。年に一度の運動会。幼児から老人までひとつになり、奥浦地区の底力を見たようです。



編集後記

五島は十月はじめに訪れた台風の後、急に寒くなった。例年は、コオロギや鈴虫のうるさいほどの合唱が始まる頃だが、なぜか今年はぎこちない独唱しか聞いていない。急な温度変化に虫たちはまだ「リハーサル中」かもしれない。

そんな中、島のひかりの編集作業も終盤に入り、おのおのが担当した題目に悪戦苦闘している。秋の夜長に鉛筆のコツコツという音が虫の変わりに鳴り響く。おしゃべり担当の〇〇さんお静かに…。

竹山 巧



島のひかり編集作業風景